

すべての子どもの健やかな育ちを まもるために

—こども家庭福祉とソーシャルワーカー—

日時 2024年12月14日 **土** 9:30-12:00

場所 佐賀県立神埼清明高等学校(佐賀県神埼市神埼町横武2番地)
/JR長崎本線神埼駅から徒歩20分

プログラム 9:30 開会

参加費無料
ZOOM配信有

9:35 特別講演

もう一つのオリンピック “スペシャルオリンピックスについて”

潮谷 義子 氏 (社会福祉法人恩賜財団済生会会長 元熊本県知事)



佐賀県出身、日本社会事業大学を卒業し佐賀、大分両県庁に勤務後、親と暮らせない乳児を預かる熊本市の「慈愛園乳児ホーム」の園長を長年務める。1999年、熊本県副知事に抜てきされ、1年後、現職知事の急死を受け、知事選に立候補して初当選。九州初の女性知事として2000年から2期8年担当。退任後は、長崎国際大学学長、日本社会事業大学理事長、社会福祉法人慈愛園理事長を経て、現在は社会福祉法人恩賜財団済生会会長。

10:50 セミナー

こども家庭庁 こども家庭審議会に参加して

有村 大士 氏 (日本社会事業大学社会福祉学部教授、
社会事業研究所副所長)



鹿児島県出身。専門は子ども家庭福祉。前職は、恩賜財団母子愛育会、日本子ども家庭総合研究所 主任研究員。2013年より日本社会事業大学に勤務。主な研究テーマは、子ども虐待やマルチリポートメントへの社会的対応、障害児支援など。2023年4月に発足したこども家庭庁において、こども家庭審議会委員や障害児支援部会の部会長をはじめ、国・自治体の会議や研究事業等に多数参画する。

リサーチマップ:<https://researchmap.jp/arimu>

11:30 実践報告

“私たちのオレンジリボン運動”について

日本社会事業大学ボランティアサークル
「オレンジクレヨン」

オレンジクレヨンとは、オレンジリボン運動をおこなっている日本社会事業大学のボランティア団体です。児童虐待防止を目指し、学内、そして地域でのオレンジリボン運動の紹介や児童虐待通告ダイヤル

189の周知を行っています。

代表:野沢彩乃(福祉援助学科2年)

顧問:宇野耕司准教授

X:@orengekureyon

Instagram:jcsw_orengekureyon



12:00 大学ガイダンス 閉会

目的

2022年(令和4年)に生まれた子どもは77万747人と過去最低を記録した。一方、全国の児童相談所における児童虐待相談件数は21万9,170件で過去最多を更新するなど子ども・子育て家庭をめぐる社会・経済環境は非常に厳しいものとなっている。

また、2023年(令和5年)4月、次代を担うすべての子どもが自立した個人として等しく健やかに成長し、将来に渡って幸福な生活を送ることができる社会の実現をめざす「こども基本法」が施行されるなど、日本の子ども・家庭福祉施策は大きな転換期を迎えている。

このような状況の中、本セミナーには長く福祉の現場に携わり、貧困や障害で苦しむ人々に寄り添い続けている元熊本県知事の潮谷義子さんを特別講師にお招きし、ご自身の体験を交え、知的障害者のスポーツの祭典「スペシャルオリンピックス(SO)」の活動などについてお話いただきます。

申込方法

次のURLにアクセスし、申し込みフォームからお申し込みください。

<https://fs220.xbit.jp/b646/form2/>



スマートフォンでQRコードを読み取って申し込みができます。

会場とオンラインのハイブリット開催！
定員：一般会場参加 20名 ZOOM参加 30名

※先着順となります。定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

※オンラインの方へは、開催1週間前を目途に、(Zoomミーティングルームの)IDとパスコードを受付登録時のメールアドレスにお送りする予定です。

kouyu@jcsw.ac.jpからのメールが届くように設定をお願いします。

日本社会事業大学同窓会

検索

10月1日～11月30日 申込受付

アクセス

- ◇電車：JR長崎本線 神埼駅より徒歩約20分
- ◇車：長崎道 東脊振ICから約15分
- ◇バス：西鉄バス 横武バス停より徒歩約3分



特典：在校生の皆さま

福祉セミナーへの参加助成制度有
同窓会HP <https://jcsw-alumni.com/>
JCSWネットワーク職場体験等応援制度

Welcome!